

やってみよう

どこまで知っていますか近江八幡

一問一答

観光ボランティアガイドが教える

近江八幡の魅力

近江八幡観光ボランティアガイド協会に所属し現在は事務局長をしておりますが、この問題とは直接関係はありません。これは、西川秀夫一個人の責任で作りました。ですから、下記の協会に所属しておりますが、協会とは無関係です。できれば、こういったことを仮称「近江八幡観光歴史検定」としてVG協会全体の取組でやりたかったのですがVG役員会で否決されてしまいました。今回の問題は、その時、例題として提案したものを、せっかく作ったので陽の目を見ずに没にするには惜しいので、UPしました。

近江八幡観光ボランティアガイド協会

〒523-0891 近江八幡市鷹飼町 無番地

J R 近江八幡駅北口 近江八幡市観光案内所内

T E L 0748-33-6061 FAX 0748-32-4125

HP: <https://www.omi8guide.com>

提案書には、このような文言を入れて、会員の力も借りようと思ったのですが・・・

この問題のタネ本は、近江八幡観光ボランティアガイド協会が手作りで作った、「ガイドマニュアル＝ガイド教本」が元になっていますが、問題文は個人の作です。当協会員の観光ガイドの案内説明をじっくり聞いていけば、簡単な問題になっています。また、時間が無くて、聞きもらした場所や、行っていないところのガイドにもお役立てください。最近歴史や時代劇ファンのみならず、また安土城・八幡城・八幡堀だけでなく、長命寺、武佐宿、沖島、ヴォーリズなど、近江八幡のことをもっと知りたい。学びたいと思う人が増えています。そういう人達に向けて、観光ガイドの一コマをお見せすることにより、「もう一度、来幡したい。」というリピータを増やすことを目的で作りました。

ぜひ、現地へ赴き、目で見て、肌で感じながら学んで、一層近江八幡を好きになって頂く機会として、この「一問一答」をPRするものです。少し難解と思われる箇所もありますが、個人の素人の見識ですから、たかがしれています。歴史好きマニアの方なら簡単です。

☆初級編

1、旧伴家住宅

小幡観光駐車場から降りて最初に目に入るのは、3階建ての屋敷です。これは八幡商人を代表する伴庄右衛門（荘右衛門とも書く）家の屋敷です。この旧伴家住宅跡は7代伴庄右衛門能伊（よしただ）が文政10年（1827年）から天保11年（1840年）にかけて建てたものです。その後、明治の学校（八幡西学校）、町役場、図書館として利用されましたが、明治28年当時の尋常高等小学校の図面に基づいて復元し、平成16年4月より一般公開されています。

さて、問題ですが、旧伴家住宅の玄関横にある顕彰碑（石碑）には、江戸中～後期（享保～文化）の国学者・歌人でもあった、5代目伴庄右衛門資芳（すけよし）を讃える光格天皇の兄君（妙法院宮真仁法親王）の署があります。資芳は家業も繁栄させますが、歌学に精通し、平安和歌四天王とまで呼ばれています。その資芳は、何と呼ばれていましたか。

3 択問題

① 伴蒿蹊（ばん こうけい）、 ② 伴 太郎左衛門 ③ 伴 伝兵衛

答：①

解説

5代目伴庄右衛門資芳は、伴蒿蹊と称して初め和歌を北村季吟に学び、与謝蕪村や本居宣長とも親交があり、後世は文筆家として名高い。著書「近世畸人伝」は有名です。他に「主従心得草」、「閑田詠草」「閑田耕筆」などの著述から閑田子と別号した。忍者列伝にも登場する有名な甲賀忍者（伴谷村出身＝大伴氏の末裔）であった伴太郎左衛門資家は織田信長に仕え1582年6月本能寺の変で討死をしている。その子が伴庄兵衛資則（資規）で、安土城下に住んでいたが、秀次の八幡開町と同時に両刀を捨てて商人（蚊帳、畳表、扇子、麻織物等の行商）となり、八幡永原町に移住し屋号を扇屋と称した。2代目資明の長男＝資宗は、新町の現在地（伴荘右衛門家の西隣）に移り新町に本店、江戸日本橋に出店を開業して、初代伴伝兵衛を名乗った。また二男資通も分家して現在資料館の、初代伴荘右衛門（庄右衛門と書かれている資料も多い）を名乗りました。共に屋号は扇屋で、江戸では近江屋と称しました。早くから江戸で多くの大名を顧客にしており、2代目伴伝兵衛と柳川藩立花家の繋がりを広めた有名な話として「近江屋の松飾り」が伝わっている。残念なことに、伴伝兵衛本宅は無く跡地に現在、小幡駐車場の東屋の横に蔵が残されているだけである。この蔵に森蘭丸所用の胴丸具足があつて現在、甲冑コレクターの伊澤氏が所蔵しているという話は甲冑ファンにとっては有名である。その入手経路は不明だが伴伝兵衛家から別家（のれん分け）を許された家に森家（森五郎兵衛）があり、また、伴一族に、本能寺の変の際、幼い森忠政を匿った伴惟安がおり忠政が藩主となった津山藩に家臣として迎えられているので伴家と森家は何らかの関わりがあつたのであろうと思われる。

2、朝鮮人街道

小幡観光駐車場の北側の道を「京街道」とも「朝鮮人街道」とも云われます。この街道は織田信長が安土に城を築いた時に、南近江での主要な京までの軍用道として整備しました。従来の東山道（中山道）＝上街道に対して下街道と呼ばれていました。羽柴秀次が八幡の町を作った時に、この下街道を八幡の街中を通るように作り直したのです。秀次が残した「八幡山下町中掟書十三カ条」には、第1条の楽市楽座・諸役免除とあわせ「第2条には、近江の国を往還する商人は当町に寄宿すべし、並びに湖上を通る商船は必ず八幡浦に出入りすべし事。但し荷物の付け下げは荷主次第となす。」とあり、街道や湖上交通の人や物を町に集めました。このことが後の八幡商人の活躍に大きな役割を果たすこととなります。1600年関ヶ原合戦が起こった時に徳川家康はこの町に寄り街道を往復しました。そのためこの街道を「戦勝街道」とも呼び、以後はこの街道は將軍家しか通わない道と決めました。参勤交代の大名は中山道を通らせたのです。例外的に、国賓級の外交使節団である朝鮮国からの通信使だけは、この街道を通らせたのです。そこから朝鮮人の通る街道ということで朝鮮人街道と称されるようになりました。旧伴家住宅には第7次の朝鮮通信使への饗応料理（昼食）のレプリカが常設展示されています。

さて問題ですが、この朝鮮通信使の関連で近江八幡市と韓国の密陽市とは姉妹提携を結んでいます。この姉妹提携を結ぶことになった歴史上の人物は次のうち誰でしょう。

- ① 李 邦彦（李 南岡） ② 松雲大師（四冥大師、惟政） ③ 雨森芳洲

答：②

解 説

李邦彦（イ・バンソク）は第8次の正徳度の通信使の従事官である。帰路、本願寺八幡別院にて逗留し望郷歌の七言絶句を書き遺した。その書はユネスコ世界記憶遺産として登録されている。彼の書は鞆の浦の対潮楼にも有名な「日東第一形象」書が残されている。松雲大師は、第1回の朝鮮通信使（1607年＝当時は3回目までを回答兼刷還使という）に先立つこと1604年、朝鮮国王の使者として伏見城で徳川家康と会見し、以後の朝鮮通信使の道筋をつけた人として記憶されている。惟政の尊号が松雲大師であり壬申倭乱（日本では文禄・慶長の役）の時に抵抗軍を組織して日本の倭軍と闘った義僧である。その出身地が密陽市であり、同市の義忠寺というお寺に祀られている。朝鮮人街道が取り持つ縁での姉妹提携であった。雨森芳洲は号で、近江高月町（現長浜市）の町医者出身で、朱子学者木下順庵に学び師の推薦で対馬藩に仕えた儒学者である。釜山の倭館で朝鮮語を学び正徳と享保の2回、朝鮮通信使に同行した。同門には新井白石がいる。現在も長浜市高月雨森地区には芳洲庵があり、朝鮮通信使関連（世界記憶遺産）が展示されている。

3、八幡堀

新町の八幡商人の町家筋を通り抜けると八幡堀の新町浜に至ります。そこは映画やTV時代劇の撮影のロケ地として有名な場所です。天正13年閏8月22日（新暦では10月15日になるので NPO 法人秀次倶楽部ではこの日を八幡開町の日とする）秀吉から羽柴孫七郎秀次に対し朱印状（封地状）が発せられ、秀次が八幡山城主になりました。秀次（実際に指揮したのは家老の田中吉政＝九兵衛町の名があり）は八幡山の周囲に人工の堀を掘り、その土砂を町の西側の湿地に埋めて町割りを完成させました。湿地で水はけが悪い箇所には下水道（＝背割排水）を設けたと言われます。竹管の古式水道も、江戸初期に商人・町衆の手で完備されたと伝わっています。この八幡堀は琵琶湖と繋ぎ、当時七か所あった八幡浦（浜・港）には琵琶湖を往来する商い船を寄港させた。（八幡山下町中掟書より）

さて天正13年閏8月22日に羽柴秀吉から羽柴孫七郎殿に宛てた封地状には、「秀次の知行地は江州所々において43万石だが秀吉が付けた宿老達に23万石を当て、自分（秀次自身）は20万石をあてがうこと堅く申しつける者也」とあり、秀次の家臣に養子先の三好家の若江八人衆を引き抜いて付けたり、田中吉政など秀吉から眼をかけられていた武将を宿老（付家老）としているが、次の3武将のうち、秀次の宿老でなかった武将は誰か。

- ① 中村 一氏 ② 藤堂 高虎 ③ 一柳 直末

答：②

解説

中村一氏は秀吉が長浜城主以来の与力（家臣＝200石）であり、山崎の合戦、賤ヶ岳の戦いで武功を立て岸和田城主として3万石を領していたが、秀次が江州、八幡城主となった時に、付けられた家老の一人で、近江国水口岡山城主になり8万石を拝領している。別名を「孫平次」といい、今もその名を市内町名に残している。一柳直末は美濃（現在の岐阜市）の土豪であったが元龜元年（1570）秀吉に仕え、黄母衣衆となった。天正13年、秀次の宿老に任命され美濃大垣城に3万石を領した。直末の別名である「市助」町も八幡町内に残っていたが、江戸時代に仲屋町となって今に至る。ただ、彼の場合は、小田原合戦の時に秀次軍の山中城攻めで戦死をしている。墓と記念碑は山中城跡にある。不思議なご縁で、直末の家督を継いだ直盛の家系から、一柳満喜子＝後のヴォーリズ夫人が出ているのである。この2人を結びつけたのが「NHK 朝ドラのあさが来た」の主人公＝広岡浅子である。その朝ドラのロケ撮影で八幡堀も利用しており奇縁でもある。藤堂高虎は秀次でなく秀吉の弟の大和郡山城主であった秀長の家老であった。秀長亡きあとは秀長の養子であった秀保（秀次の弟）が郡山大和中納言となり藤堂高虎は後見役となったが、その秀保も横死をして、大和郡山の豊臣家は断絶となっている。このように、主家（秀次や秀保）を悲劇で無くした家老＝武将たちは、関ヶ原合戦では東軍に就き、田中吉政などは、石田三成を捕縛した武功により、筑後柳川藩を賜っている。秀次事件は秀吉の謀略で冤罪なり。と思う。

4、日牟礼八幡宮

社伝によれば、13代成務天皇の折、武内宿禰に命じて大島大神（地主神）を祀らせました。その後、応神天皇が母の故郷＝息長に行幸の際、この地に御座所を置かれた故にそこに祠を建て、日群之社と名付けられた。（日牟礼社の社名は、日触の転で、和邇族の日触使主（ヒルノミ）に由来するとも云われている。）また持統天皇5年（691）に藤原不比等が参拝し「天降りの神の誕生の八幡かも 日牟礼の社になびく白雲」と和歌を詠み、当時の万葉仮名により日牟礼の社に改めたとされています。正暦2年（991）一条天皇の勅願により宇佐八幡宮を勧請して八幡山に上社を、麓に下社を祀りました。天正13年八幡山城築城の際、上社は麓の下社に移され合祀されました。祭神は、応神天皇と神功皇后と比売神（宗像三女神）です。八幡神は武神として信仰され近江守護の佐々木六角氏などに尊崇されてきました。境内社として大島神社、八坂神社など八社あります。大鳥居は紀州藩士だった日置清順が三十三間堂の通し矢で優勝した時に故郷の八幡に寄附したものです。社宝として国の重文「安南渡海船額」（絵馬）があります。江戸初期の鎖国で帰れなかった八幡商人、西村太郎右衛門が奉納したものです。楼門は鎌倉時代に佐々木六角氏が建立したが焼失し、現在のは江戸時代に再建された門です。左右に隨身様（大臣）があり「随神門」と呼びます。屋根の下四隅には猿の彫刻があり「四方猿の御門」と呼ばれてお目出たい門です。楼門には三つの異なる紋が掲げられています。左には、左三つ巴の八幡の神紋があり、中央は菊のご紋です。右には何のご紋が掲げられているのでしょうか。

- ① 織田氏の五つ木瓜 ② 豊臣氏の五七の桐 ③ 徳川氏の三つ葉葵

答：③

解 説

織田信長の遠祖に、織田（平）親真という人物がいる。彼は平家一族（平資盛の子）で南津田に隠れ住み、後に越前織田荘の忌部氏に養子に行き織田剣神社の神官となった。その子孫が織田氏や津田氏となり、斯波氏が越前守護になると越前の国人であった織田氏も暫時被官層に組み込まれ斯波氏が尾張守護を兼任すると織田一族も越前から尾張に移住していったものと見られる。織田信長が平家を称していた根拠はこれである。奇しくも、系図では遠祖の故郷に錦を飾ったことになる。五七の桐は豊臣氏が後陽成天皇より氏と共に賜った紋である。豊臣秀吉の甥の秀次も羽柴から豊臣氏に改めた際に五七桐紋の使用を許されている。五三桐は、室町時代から広く使われ織田信長も使っている。三つ葉葵のご紋は水戸黄門でも有名な徳川の家紋である。なぜ日牟礼八幡宮に掲げられているのかというと、関ヶ原合戦の時、徳川家康が戦勝祈願をした神社であり、帰路にも本願寺八幡別院で休憩をしている。その関係で八幡町民は徳川家の庇護を受け、大阪の陣などでは徳川軍に味方し後方支援を担ったという。八幡商人が、いち早く江戸日本橋に店を出せたのも、恩を感じた家康から、今でいう企業誘致を受けたからだという説もある。

5、八幡山城

「続・日本百名城」に載った八幡山城であるが、その面影は石垣積み（野面積み、角は算木積み）だけである。山頂には村雲御所瑞龍寺（日蓮宗唯一の門跡寺院）が京都村雲の地（現在は西陣会館がある所）から昭和36年に移築されました。元は秀次の母の智（日秀）が嵯峨野の庵で秀次一族の菩提を弔っていましたが後陽成天皇から寺領を村雲の地に賜り建立した寺です。山頂はもとより出丸、西ノ丸、北ノ丸跡から眺める風景は格別です。秀次は18歳で八幡城主となり、28歳で高野山の柳の間で（謀反の嫌疑をかけられ）切腹しますが、秀次の係累39名も三条河原で処刑されます。その悲惨な絵図と墓が三条橋近くの瑞泉寺（豪商角倉了以が秀次悪逆塚跡に建立）にあります。京都に行ったら是非お立ち寄りください。また京都左京区の善正寺は瑞龍寺の歴代墓所（1世日秀～12世日英、13世日鳳）がある所です。寺号は秀次の法名「善正院殿高岸道意大居士」から善正寺と名付けています。是非ここもお立ち寄りください。豊臣完子（秀次の実弟＝豊臣秀勝と江の子）の子と孫が瑞龍寺2世と3世であったのには驚きました。なお、秀次や母日秀の墓所は善正寺であり、瑞泉寺は秀次の首塚の供養と処刑された秀次一族39人・打首賜死の家臣十数人の墓所がある。特に哀れを誘うのが「駒姫＝伊万」の処刑であったと云われる。NHKドラマの「真田丸」や映画「関ヶ原」で描かれていたのでご記憶の方も多いと思います。さて、問題です。その「駒姫」は誰の武将の娘であったでしょうか。

- ① 最上 義光 ② 前野 長康 ③ 服部 一忠

答： ①

解説

秀次の奥州平定に際して、見染められて京都聚楽第に15歳で入第したが、その時、秀次は既に高野山に蟄居していた。父義光の助命嘆願も虚しく三条河原で処刑となった。辞世の句は京都国立博物館に保存されており複製品が瑞泉寺にあり、山形の最上義光歴史館でも見られる。菩提寺は山形市内の専称寺（真宗大谷派）にある。余談だが江戸時代前期に最上山形藩は改易となり近江大森（1万石→5千石）に陣屋を構えた。現在は玉緒小学校の横に陣屋跡がある。前野（将右衛門）長康は墨俣城時代から蜂須賀小六と共に秀吉に仕えた武将である。秀次の家老＝後見役であったが秀次事件に連座して、子の景定と共に切腹させられた。前野家に伝わったという「武功夜話」は従来の学説を覆す貴重な歴史資料と一時は注目されたが信憑性は立証されていない。服部一忠は、通称名を「小平太」と云い、永禄3年の桶狭間の合戦で、今川義元に一番槍を付けた有名な武将（当時は馬廻り）である。本能寺の変後は秀吉に仕え、小田原合戦の武功により伊勢国一志郡35000石を領したが同時に、尾張・北伊勢を与えられ100万石の清須城主となった秀次に付けられた。そのため秀次事件に連座して領国没収のうえ上杉家に預けられ賜死を命じられている。服部という氏から分かるように、伊賀忍者の服部氏の同族である。その他秀次の家臣には信長に滅ぼされたとされる浅井家や六角家の係累が実は秀次公の家臣として、浅井喜八郎井頼（長政二男、庶子）や六角義郷が存在していたことにも驚きます。

6、ウィリアム・メレル・ヴォーリズ（一柳 米来留）

明治38年（1905）に日本でのキリスト教伝道の志を立て、単身でこの近江八幡の地にやってきたW・M・ヴォーリズ（24歳）は、初め県立商業学校の英語教師となったが2年後に解雇され、その後は京都三条のYMCAに建築設計監督事務所（後のヴォーリズ建築事務所）を開業し、さらにヴォーリズ合名会社を設立して建築家として名を成したが、近江サナトリウム（現ヴォーリズ記念病院）の開設や、近江セールズ（株）で輸入販売、メンソレータム（現メンターム）の輸入取扱い（後に製造販売）などの事業も起こし「青い目の近江商人」と呼ばれた。38歳で一柳満喜子夫人と結婚後は市内の子ども達の教育にも力を入れ近江兄弟社学園（現ヴォーリズ学園）を設立した。78歳の時、近江八幡市名誉市民第1号に推された。遺骨は夫婦とも恒春園（ヴォーリズ記念病院横）に眠る。このW・M・ヴォーリズの縁で近江八幡市とアメリカのある都市とは友好都市提携をしている。そのアメリカの都市は次のうちどれか。ヴォーリズに因んで、その都市は姉妹都市ならず兄弟都市と云っている。

① カンザス州レブンワース ② アリゾナ州フラッグスタッフ ③コロラド州デンバー

答：①

解説

レブンワースは西部開拓団の出発地である。市章は幌馬車である。ヴォーリズ像の横に記念碑がある。この地でヴォーリズは誕生から8歳までの幼年期を過ごした。体の弱かったヴォーリズは療養を兼ねて一家でフラッグスタッフに移住し少年期をここで過ごした。さらに16歳の時、デンバーに転居しイースト・デンバー高校に通い、大学も建築家を目指して近くのコロラドスプリングスにあるコロラドカレッジに入学する。大学ではYMCA活動に熱心で21歳の時カナダのトロントで開かれた学生宣教義勇団大会に参加し感銘を受け外国伝道への献身を決意する。そして大学（哲学科）卒業と同時にYMCA本部からの日本の教師募集に応募し近江八幡に到着するのである。来日後、ヴォーリズの魚屋町の自宅で始めたバイブルクラスが解雇の原因でもあり中等学校YMCAに発展し後のYMCA会館（アンドリュース記念館）に繋がるのである。終戦後、近衛首相の密使が来てマッカーサ元帥とのコンタクトの仲介を依頼されたらしい。ヴォーリズはそのことを秘密にし墓場に持っていくつもりであったが、満喜子夫人側からその情報が漏れ、ヴォーリズは大変立腹したという逸話が残っている。レブンワースにはアメリカ陸軍の基地があり、マッカーサ元帥も幼年期をそこで過ごしていることから、ヴォーリズとは同郷の幼馴染だったのかもしれない。後日談で「天皇を守った外国人」ということになっている。そうでなくても、ヴォーリズが手掛けた軽井沢の別荘で、ヴォーリズと共に若き日の平成天皇と皇后と一緒に写真に写っているのを見たことがある。また、今でこそ「クラブ・ハエ・たねや」の洋菓子は有名だが、最初の洋菓子はスイートポテトで、そのレシピをヴォーリズ家に教えてもらったのが最初であると「たねや」の社史に書いてある。昔の「たねや」は池田洋館街の隣にあったのだから事実であろう。

7、沖島

淡水湖で人の住む島と云えば沖島が話題となり観光客も増えてきている。一方高齢化率も増えており沖島小学校の児童数（平成 29 年度）も島内 2 名、島外からの入学が 17 名である。沖島は古くは全くの無人島で「神の島＝藤原不比等により奥津島比売命（弁財天）を祭神として社殿を創建～元は弁財天社（巖島神社＝市杵島比売命とも云われる）の磐座に神が降臨され祭祀場であったが後に現在地に移動した。」と云われ近寄ることもできなかった島です。どちらにせよ水神で奥津島比売命は宗像三女神の一柱です。対岸の白髭神社の湖中鳥居から沖島の奥津島神社を見ると北津田の大島神社、日牟礼八幡宮は一直線に並びます。沖島の奥津島比売命を奥津宮とし、大島神社を多岐都比売命の中津宮、日牟礼八幡宮の比売神（市岐島比売命）を辺津宮として三女神を祀るもので、これを「琵琶湖（霊）レイライン」と呼ぶ人もいます。このラインを延長していくと北は若狭湾に、南は伊勢神社に到達します。伊勢には猿田彦神社もあり白髭神社とも繋がります。また一説には、竹生島には端津姫命、多景島には多紀理姫が祀っており、天の真名井（琵琶湖）つまり近江高天原説があります。島民の歴史では、保元・平治の乱後、清和源氏の 7 人が住み着く事になり後年、宇田源氏の 2 人が加わり 9 氏が島の祖と云われています。また沖島には浄土真宗のお寺が 2 カ寺あります。他宗の寺はありません。これは約 550 年前（文明 3 年夏）、本願寺第 8 代蓮如上人が北陸への布教の途中で嵐に遭い沖島に流され上陸したとき、住人の茶谷某氏（重右衛門）が蓮如上人の弟子となり釈西了の名で庵を設けたのが西福寺の始まりで、その茶谷氏の西福寺には寺宝として、その時に書かれた蓮如上人ご真筆の「虎斑の名号」が残されている。もう一方の願証寺も西居某（宮内）が蓮如上人から釈願証（願生）と法名を授けられたことに始まります。見学は無料だが本堂に御参拝するには常識として懇志が必要でしょう。また、この島の北側（通称：セトウラ）には石英、長石を主成分とする石英斑岩が多く、昭和の最近まで石材業の砕石場がありました。現在、砕石場は段々畑にして一区画千円で配布され島民は「千円畑」と呼び自家野菜を栽培しています。多くの伝説も沖島にあり、足利義政の乳母であった「今参局」が日野富子との政争に敗れて流されてきたのち弁天浜で処刑されたという逸話もあります。

さて質問ですが、沖島では「七人の落武者」と後に 2 名の落武者が加わって、9 人の氏が確認され伝わっていますが、次のうち島民ではあるが、源氏の落武者の名にない氏はどれでしょう。

- ① 西居 ② 本多 ③ 奥村

答： ②

解 説

島の祖と云われる氏は「茶谷、北、小川、南、西居、久田、中村」の七名と「富田、奥村」の 2 名です。本多さんは現在の願証寺の住職の名です。開基の西居某の家系が途絶えて、お寺を継職したのでしょうか。西福寺は茶谷氏が住職です。島内に限らず最近では檀家や門徒の高齢化や、若者のお寺離れなどが進んで寺院護寺に、どこも苦勞されているようです。

8、中山道

現在の国道 8 号線に沿って、南側に旧中山道が通っています。義経元服池（竜王鏡の里）から東へ日野川を越えて東川町の信号を南に一筋行った東西線の細い道が旧中山道です。馬淵小学校の前の道を通り、千僧供町に入りますと、小山の古墳群が見えてきます。その中に「住蓮坊遺跡（古墳）」があります。墳丘上に安楽坊・住蓮坊の供養塔がありますが、承元の法難で、ここで法然の弟子であった住蓮坊が処刑された場所です。その横には住蓮坊の首洗い池も残っています。承元の法難とは師の法然を四国に、親鸞を越後に流罪した事件ですが、鈴虫・松虫を直接出家させた 2 人には斬首が下されたのです。古墳群を横目で見ながら真っ直ぐに進むと「岩倉」に突き当たります。ここには穴太衆と比肩する馬淵衆と称する石工集団が住んでいました。右手に行くと倉橋部にでます。「今昔物語」で有名な「安義橋の鬼」物語の舞台です。右手に進むと、長福寺町・長光寺町に行けます。名前の通りお寺が多くあります。なかでも正面にある山は長光寺山と云いますが、別名を「瓶割山」と云います。柴田勝家が越前北ノ庄に移動になる直前まで居城とした所です。元亀元年(1570)、佐々木六角氏の残党軍に城を囲まれた時、城の水瓶を割り打って出たところからその名が付けられています。「瓶割り柴田」の異名もこの時のことです。今でも福井市の柴田神社では 5 月に武者行列が出て瓶割りの行事が行われます。山麓には「ハナノキ」（天然記念物）で知られる真言宗の長光寺があります。聖徳太子建立の 49 寺の 1 つと云われた名刹です。さらに東に進むと近江鉄道武佐駅と交差します。その手前の西宿町には伊庭貞剛の生家跡がありますが、今は広場になっています。伊庭貞剛は近代住友の第 2 代目総領事です。別子銅山中興の祖と云われ、足尾の田中正造も評価していた。住友林業が今あるのは彼が植林を進め環境復元に心血を注いだからだと言われている。中山道と八風街道が交わる付近を武佐宿といい、本陣・脇本陣跡がある。浄土真宗の広済寺は太子山といい聖徳太子の創建と伝えられている。元は武佐寺として一つでしたが、西と東に分かれ西は長光寺、東が広済寺となったと広済寺の武（たけ）住職は説明する。西生来町を越えると、老蘇地区が見えてくる。奥石神社と書いてオイソ神社と読む。地名は老蘇であるが、古くから中山道の傍の老蘇の森に鎮座し、大田道灌など有名人が往来している。神社縁起には、日本武尊（ヤマトタケル）と弟橘姫を祭祀したとあるが、一説にはキヌガサ山をご神体とする原始宗教から始まる神社だという説もある。市内の中山道の案内はここで終わる。北側の山には観音寺城跡や観音正寺があるが東近江市のエリアである。さて、問題だが、織田信長は近江侵攻にあたって柴田勝家など信長の有力家臣で四天王といわれた人物を近江に配置したが、近江に唯一城が無かった武将は四天王の武将のうちで誰か。

- ① 羽柴 秀吉 ② 明智 光秀 ③ 滝川 一益

答 ③

解説

秀吉は長浜城を、光秀は坂本城を与えられたが、滝川一益は伊勢に封じられた。滝川一益は甲賀出身の武将でしたが、近江の後方を支えるため伊勢に配置されたと考えられます。

9、長命寺

西国 31 番札所で知られる観音霊場である長命寺には古い歴史があり寺宝も多い。市にある国の重文は 70 点のうち 14 点が長命寺にある。景行天皇 20 年、武内宿禰が当山に登り「寿命長遠諸願成就」の文字を柳の巨木に記し長寿を祈ったら寿命が 300 歳まで保ったという。その後、聖徳太子が来臨されたとき、この霊木で観音像を刻めば霊験あらたかであると告げられ伽藍を建立したとある。（長命寺縁起によれば武内宿禰の開びやく、聖徳太子開基とある。）延喜 12 年（912）延暦寺の末寺となる。三井寺の行尊による 33 か所観音霊場巡礼（1107）に長命寺が記録されている。近江国守護の佐々木氏の庇護のもと大いに栄えたが、永正 13 年（1516）第二次伊庭の乱の戦火で諸堂宇が焼失した。織田信長によって焼かれたと云うのは間違い。安土桃山から江戸初期にかけて徐々に寺は再建されていくのであるが、そこに関わってくるのが穀屋寺の「長命寺参詣曼陀羅」と「熊野勤心十界曼茶羅」です。穀屋寺は長命寺再建の中心となった寺で、この曼茶羅も再建活動に供されたものです。本尊は重文で千手・十一面・聖観音の三体ですが、秘仏とされ 50 年に一度開帳されます。普段は三位一体の観音立像のお前立ちを参拝します。三重塔も重文ですが中は大日如来坐像を広目天など四天王が囲んであります。長命寺集落は、かつて門前町と同時に港町でもあった。この集落から一直線に本堂まで 808 段の階段が続いている。長命寺から中ノ庄～北津田へと続く旧道には「天之御中主尊神社」がありこの神社は神話の最初の神様を祀っている。全国にも信奉者が多くおられ東郷平八郎が揮毫した額がある。長嶋茂雄親子も参詣されています。山頂の巨岩・磐座は神宿る場所（奥宮）とされています。中ノ庄の背後から北津田山に続く山々にも多くの巨石（磐座）が点在し（白山）信仰の対象とされています。北津田に至ると大嶋奥津島神社があります。大島神社（大国主命）と奥津島神社（奥津島姫命）の二つを指しています。境内社や境外社も多く、社伝によれば大嶋神社は成務天皇が即位（131）した年、武内宿禰に勅し創建されたとある。昔はここ一帯を大嶋郷と云った。奥津嶋神社の由来も同じである。天智天皇が遊獵の際、食された「むべ」を今でも宮内庁に届けている。

さて、以上で長命寺から北津田町までの案内を終えますが、島学区のガイドはまだ続きます。ところで滋賀県人がよく歌う「琵琶湖周航の歌」には長命寺は西国何番と詠われているでしょうか。

- ① 十番 ② 三十番 ③ 三十一番

答：①

解説

長命寺は西国 31 番札所ですが、歌いやすくするため十番に変えているという。最もポピュラーな歌詞として長命寺が登場する 6 番目の歌詞は「西国十番、長命寺 汚れの現世 遠く去りて 黄金の波にいざ漕かん 語れ我が友 熱き心」です。大正の初め第 3 高等学校（現京大）の寮歌として小口太郎が作詞し、吉田千秋作曲であるが当時「ヒツジ草」のメロディとして歌われていたようである。本来の西国十番札所は京都宇治の三室戸寺です。

10、白王～円山

現在の島町は奥島村と呼ばれた島であった、陸を結ぶ唯一の橋が渡会橋である。橋から真っ直ぐ北に向かうと奥村の集落である。裏山はイキヤ山系に連なる権現山である。山麓には古墳群が散在し古くから集落があったことが伺える。山には白山権現が祀られている。渡会の信号を道なりに行くと白王の集落に至る。白部と王の浜の集落であったが、現在は合わせて白王と呼ぶ。惟喬親王が皇位争いに敗れて琵琶湖に流れ着き、ここに上陸したことから王の浜と呼ばれるようになった。集落の若宮神社には惟喬親王を祭神とし、その時接待した食事を再現し神撰としている。また水行という行者講の行事（厄年の男性が裸に腰蓑姿で家々に置いた水を被る）も小寒の1/6に行なわれている。

八幡と奥島・長命寺を結ぶのが「長命寺古道」であり渡会橋です。渡会橋の傍に百々神社があります。祭神は猿田彦で神使は蛇である。橋下に大蛇が潜んでいたという伝説（「近江の昔話」）もある。橋を越えると円山に入る。円山神社は天孫のニギハミトを祀っている。円山城址もありここは、佐々木六角の支流の西条氏の居城があった所である。城は伊庭の乱（長命寺合戦）で焼失しましたが、その一族の中には遠江に逃れ今川家に仕えた頭陀寺城主で、木下藤吉郎を最初に雇った松下加兵衛之綱が子孫として伝わる。円山まで来ると周辺は西ノ湖でヨシ原である。一般的には西ノ湖の水郷と云っています。国の重要文化的景観第1号に選出されました。ヨシ原では「ヨシ焼き」があつて上質の葦（ヨシと呼ぶ）は、「すだれ・よしず」加工販売され、屋根の材料にも使われました。白王地先には、田舟を使わないと通えない飛び地の田んぼが7か所ありました。今は「権座」だけが残し、昔の原風景を残しながら「酒米・渡船」を作付けし「権座」という地酒を醸し造っています。白王・円山は「にほんの里100選」にも「ヨシを生かす水郷」として選ばれ、また、2006年にはラムサール条約にも登録され、2015年には「琵琶湖とその水辺景観一祈りと暮らしの日本遺産」にも認定されています。観光シーズンには手漕ぎ船の水郷めぐりや八幡堀めぐりを目当てに訪れる観光客も多くあります。なお、白王地先になりますが、琵琶湖に突き出た伊崎山に役行者の開基とされる伊崎寺があります。その寺の年中行事として知られている行事が、毎年8月1日に行われます。起源は天台修験の修行の一つの捨身であるが、他にも湖上往来の船舶に喜捨を求めた名残りとも云われている。内湖が干拓される以前は、近郷から田船に乗った見物人が訪れ酒宴が繰り広げられ大いに振ったとされる行事名は何でしょう。

- ① 千日回峰 ② 施餓鬼会 ③ 竿飛び

答：③

解説

「伊崎の竿飛び」という。比叡山の若い僧侶が湖中に張り出した細い柱を歩き、隅から琵琶湖にお経を唱えながら飛び込むのである。昔は近在の若者も度胸だめしに飛び込んでいたが、酒を飲んでの飛び込みは危険だとして、近年は僧侶だけが行なうようになっている。千日回峰は比叡山の荒行である。施餓鬼会は8月のお盆に行なわれる仏教行事である。

11、寄り道を試みよう。⇒滋賀県でも有名な心霊スポットが近江八幡にあるよ。

場所は近江八幡市浅小井町から安土町香庄に至る境で県道2号線の左脇から見える森がある。周囲の広大な田園風景に不向きなぐらiboつんと残されてある森である。新開の森というらしいが、一般には「シガイ（死骸）の森」と呼ばれている。その昔、織田信長の処刑場があった所だとも云われている。信長公記には、織田信長が安土城を留守にした時、城の女中たちが竹生島に遊びに行ったのを激怒して、女中の首を切った場所だとの逸話もあります。また安土問答（宗論）の発端となった法華宗の僧を処刑した場所だとも伝わっています。新開の森の木を切ると祟りがあるとして不自然に森が残されたのではないのでしょうか。地元では今宮大明神・天満宮の御旅所として利用されているようですが、昼でも一人で行くと怖いです。ましてや靈感の強い人がこの森に入ったら何かの囁き声が聞こえると云われています。さて織田信長が死んだときの、法名・戒名は次のうちどれでしょうか。

- ① 総見院殿 ② 善正寺殿 ③ 東照大権現 安国院殿

答： ①

解 説

織田信長公の法名・戒名は総見院殿です。秀吉が信長公の一周忌を行なった際に付けられました。総見院といえば信長公を指します。善正寺殿は、豊臣秀次公の名です。今も京都に同名のお寺があり、秀次公と瑞龍寺の代々門跡の菩提寺となっています。東照大権現といえば徳川家康公を神格化した際の呼び名ですが、法名・戒名は安国院殿と云います。覚えておきましょう。一般庶民は、普通死んだら「釈〇〇」ですが、偉い人には院号や寺号や神号が付きまします。それで今までも「院号」等を頂くことを名誉と考えている風潮もあります。ちなみに豊臣秀吉の戒名は国泰祐松院殿ですが神号の「豊国大明神」が一般に知られています。

☆ここから【中級編】です

(注) この問題の見方……初級編については、最初に3択の問題を記し、次に答とその解説を加えています。しかし、この中級編に関しては、レベル・難易度も少し上げており、問題の数を増やして解説はあまり加えておりません。あなたの知識や見識を試すものとして作ったものです。個人で作ったものですから、出題項目では似通った問題がありますが、ご勘弁下さい。でも回答は少しずつ変えてあるつもりです。(作者注：西川秀夫)

【歴史編】

1、今昔物語巻第二十七 本朝付霊鬼「近江國安義橋鬼喰人語第十三」に出てくる鬼が出る橋はどこの川に架かっている橋ですか。市内にあります。1984 年にはその橋を舞台に出没する鬼を退治に出かけた侍たちと鬼を描いた映画が作られました。それは「今昔物語」のなかの「安義橋の鬼女」の題材を映画化したもので「アギ・鬼神の怒り」という題です。ビデオ・DVDもあります。中村久美、伊武雅刀などが出演している映画ですが、ご存知ですか。知らなかったら検索して見て下さい。芥川龍之介の書いた「羅生門」は今昔物語の本朝世俗部第二九「羅城門登上層見死人盗人語第三八」を基に脚色したもので、また「羅城門の鬼」は、謡曲「羅生門」に登場するが鬼だが、本は平家物語の「一条戻り橋の鬼」を羅城門に変えたものである。

① 野洲川 ② 安曇川 ③ 日野川 ④ 犬上川 ⑤ 愛知川

答： ③・・・(倉橋部から竜王林へ行く所の日野川に架かる橋・・・安吉橋のこと)

2、江戸時代、上田秋成によって執筆された「雨月物語」の中には、高野山を舞台にした「仏法僧」という物語がありますが、そこに登場する亡霊は誰れでしょうか。豊禅閣ともいわれ無念の切腹であったと聞いています。7月15日が命日です。

上田秋成の著書「雨月物語」を映画にした作品があり観たことがあります。舞台は京・近江でした。

① 織田信長 ② 豊臣秀次 ③ 千利休 ④ 豊臣秀吉 ⑤ 豊臣秀頼

答： ②・・・(高野山で切腹した豊臣秀次と小姓をモデルにしています。「仏法僧」という短い短編集です。) この「雨月物語」は映画になったこともあります。

3、初代八幡城主の豊臣秀次はよく知られているところだが、小田原征伐の功により秀次が尾張清須城に移封したのち、新たに第二代八幡城主として移封してきて最後の八幡城主となった人物の名は誰か。秀次事件で八幡城は廃城となり、彼は大津城へ移転する。大河ドラマの「お江」の姉「お初」の夫と云えば分かるかな。初の威光で大名になったといわれ「蛸大名」と陰口をされたが関ヶ原合戦時において大津城での東軍としての戦功が認められて若狭小浜城主となる。

② 京極高次 ②山内一豊 ③ 細川忠興 ④石田三成 ⑤ 蒲生氏郷

答： ①・・・(京極高次・・・近江佐々木氏の名家ですが浅井氏や織田氏などに圧されて没落していましたが、この人物が京極家を復活させました。弟に京極高知がいる。) 一方の近江の雄、六角家も一時は織田信長に攻められたが、嫡流の六角義郷が秀吉に召し出され、秀次の家臣となり六角家を再興している。秀次事件で連座して殺された元六角家の家臣だった木村常陸介の子(後の木村重成・大阪城で討ち死)を庇護し養育したのが六角義郷だと言われている。この木村氏は安土常楽寺の木村城の一族かと思われる。

4、近江八幡市の西庄町出身の商人「西村松兵衛」が明治になって横浜で再婚した「西村ツル」は前の名は「檜崎竜」といい、寺田屋のおとせ女将や勝海舟や西郷隆盛とも顔なじみだったと云われる。この「竜」は前の夫の危機を裸で救い（寺田屋遭難という）、彼とは九州に日本最初の新婚旅行に行ったといわれる。幕府体制を倒し、新しい日本を作る目前で暗殺された彼女の前夫の名前は誰か。前夫の死後は各地を転々とし神奈川の料亭田中家で仲居として働いていたこともあり、その時、知り合った西村松兵衛と明治8年に再婚し西村ツルとなり横須賀で暮らした。彼女の墓は横須賀市大津信楽寺にある。墓碑には「前夫（名前あり）の妻」と刻まれているが松兵衛が建立している。

③ 中岡慎太郎 ② 大久保利通 ③ 坂本竜馬 ④勝海州 ⑤伊藤博文

答： ③ （坂本龍馬・・・龍馬の死後、土佐で暮らしていましたが龍馬の姉とそりが合わず、飛び出したそうです。西村松兵衛の名は西庄町にある寺の過去帳に載ってあるそうです。）

5、政変（総称して応仁の乱という）により近江国に逃れて、九里氏が築城し当時、九里浄椿が城主をしていた浮城に匿われた。再起しようと軍を起こすが、その城で病没した足利幕府の第1代将軍は足利義澄である。また、その城内で生まれた足利義澄の長子の足利義晴は、後に第12代征夷大将軍となる。その城の名前は何か。昔は内湖に浮かぶ島城であったので船でしか渡れなかったが現在は周囲を干拓され陸続きになって車で行ける場所である。山頂には土塁を巡らせた城址と居館跡がある。九里氏も10年後には佐々木氏に攻められ滅ばされている。九里氏居館跡は現・金田小学校の敷地にある。

④ 水荃岡山城 ② 円山城 ③ 安土城 ④ 長光寺城 ⑤木村城

答： ① （水荃岡山城・・・詳しくは郷土史家であった成沢邦正氏の著書「琵琶湖の浮城～水荃岡山城攻防史」をお読みください。近江八幡市図書館にあります。なお浮城と云われた城には、坂本城や膳所城も有名です。是非、お車ならお立ち寄りください。）近江八幡市内には31か所の城跡があります。近江八幡観光物産協会のホームページにも紹介されているのでご覧ください。県内には水口岡山城もありますので間違えないでください。

6、江戸時代初期の有名な陽明学者で、元岡山藩池田家の家老まで務めた人物。若い時、中江藤樹の門下になるため、祖父の実家があった桐原村（現中小森町）で一時期を過ごし中小森町内には彼の居住した庵跡に顕彰記念碑もある。その人物の名は誰か。主要道に生誕400年を祝うのぼり旗が立っているのですぐに分かります。

① 頼山陽 ②新井白石 ③ 熊沢蕃山 ④大塩平八郎 ⑤青木昆陽

答： ③・・・（熊沢蕃山は岡山池田藩に仕えた陽明学者であったが、林羅山ら朱子学者と対立し、備前市蕃山に隠棲生活を余儀なくされた。しかし名声は高く古

河藩に預けられた後も藩に頼りにされた。古河市内には蕃山沼と呼ばれる溜め池が残されている。) 後年、大阪の陽明学者で与力であった大塩平八郎も彼の平等思想の影響を受けて「乱」を起こしており、吉田松陰も彼の影響を受けていたといえます。

7、本能寺の変で討たれた織田信長の「首塚」が静岡県の西山本門寺の境内にあります。本能寺の変のとき当時宿泊していた本因坊日海の指示により信長の首をここまで運び埋めたとされるお寺です。毎年11月には「信長公黄葉まつり」が行われます。元は芝川町でしたが平成の大合併でその都市に編入合併しました。同じく安土町も近江八幡市に合併したのですが、織田信長繋がり、妙な因縁を感じます。なぜなら、それまでは芝川町と安土町は全然関係なく、ただ近江八幡市とは富士山と琵琶湖の縁で都市提携をしています、今までは信長とは関係がありませんでした。二重の縁で結ばれた、その都市の名は何ですか。

⑤ 松前町 ②密陽市 ③富士宮市 ④小樽市 ⑤ 宇治市

答： ③ . . . (富士宮市とは夫婦都市提携をして金婚式を迎えました。松前町は。松前藩時代に八幡商人が蝦夷地の場所請負に活躍した縁で姉妹提携をしています。密陽市は朝鮮通信使の関係での姉妹都市です。) 小樽市は場所請負で開拓された土地です。宇治市は、和邇の日触使主(日牟礼八幡宮の元になった氏族)の孫である菟道稚郎子が眠っている土地です。どちらも姉妹都市ではありません。

8、近江の八幡商人には「ふとんの西川」=西川甚五郎氏や、北海道の場所請負で蝦夷開発に貢献した恵比寿屋岡田弥三右門氏、住吉屋西川傳右衛門氏などが有名ですが、遠く海外ベトナムまで商売に行き、結果、徳川幕府の鎖国により、ついに日本に帰れなかった八幡商人もいました。その人の名前は何でしょう。現在、その屋敷跡は市立資料館になっています。隅に石碑と看板がありますが見過ごしてしまいそうです。

① 角倉了以 ②茶屋四朗次郎 ③西村太郎衛門 ④角屋七郎兵衛 ⑤呂宋助左衛門

答： ③ (安南屋 西村太郎右衛門です。彼が日牟礼八幡宮に奉納した「安南渡海船額」(国重文)は有名です。西村嘉右衛門の弟……角倉了以は京都の豪商です。元は近江愛知郡の出だという。御朱印船貿易で財をなし京都・高瀬川の開削もおこなったという。その時、畜生塚があった所から出てきた秀次の累系を弔うため瑞泉寺を建立した人で、近江八幡とも関わりがある。茶屋四朗次郎も京都の豪商であり、徳川家康の伊賀越え道中を助けた人物として有名である。茶屋の屋敷があった周辺は茶屋町と呼ばれる。) 角屋七郎衛門も伊勢商人で安南貿易に携わっています。呂宋助左衛門はルソンの壺で有名な堺の商人です。

9、絶えたはずの豊臣秀次公の子孫が生き延びていました。近江八幡市の洞覚院には秀次公と正室池田氏？（離縁）との間にできた娘「玉姫」の御廟所がありますが、おそらくそれは幼い時に亡くなったものです。ちなみに、秀次には累系がいましたが、秀次事件で、秀吉によってほとんどが処刑されてしまいます。そんな中で、秀次の継室一の台（菊亭晴季の娘、秀次事件で処刑）が生んだ娘だけが生き延びていました。彼女（隆清院＝なお又は清子ともいう。NHK大河ドラマ真田丸では岸井ゆきの演じる「たか」役となっていた。）は、真田信繁、通称真田幸村に側室として嫁ぎました。娘、息子を一人ずつ授かり、大坂の陣で信繁（幸村）が討ち死にしているから、秀次の母（とも）を頼って、瑞龍寺に身を寄せたりしながら、逃げ延びることができたようです。その隆清院の娘、お田（おたあさま、御田姫・顕性院）は、大坂の陣のあと徳川方に捕まりますが、江戸の大奥で3年間働くという比較的軽い処分で許されました。大奥といえば、江の居場所です。江の義理の兄、秀次の孫に当たる娘さんが、巡り巡って江のそばで働いていたのも不思議な巡り合わせです。大奥でのお勤めを終えたあと、お田は、出羽（山形・秋田）亀田藩藩主、岩城宣隆に見初められ、側室として嫁ぎ、跡継ぎを産みました。隆清院の息子、幸信も、姉のお田が嫁いだ岩城宣隆に引き取られ、亀田藩に仕えました。幸信は元服後、秀次が養子に行く前の元々の名字、「三好」を名乗りました。会うことさえ叶わなかった祖父の名前を、大事に守って生きたのです。隆清院・お田・幸信は今、秋田県由利郡岩城にお田が開いたお寺、妙慶寺のお墓で眠っています。妙慶寺は、顕性院が真田家菩提の為、寛永6（1629）年に建立した寺であるという。悲劇的な最期を遂げた秀次ですが、その子ども、孫はどうか生き延びて、厳しい運命に立ち向かい遠い地でがんばって生き抜きました。秀次の生きた証は、ちゃんと次の世代に繋がっていました。さて、ここで問題です。隆清院は真田信繁の側室でしたが、信繁の正室（竹林院）は誰の娘でしたか。その子ども（嫡男）に真田十勇士に数えられる真田大助幸昌がいるが大坂夏の陣で秀頼と共に討死しました。薩摩に逃れたという話もありますが想像の域をでません。

- ① 本多忠勝 ② 大谷吉継 ③ 伊達政宗 ④ 井伊直政 ⑤ 武田信玄

答： ② 関ヶ原で戦死した大谷吉継の娘ですね。

10、1579年（天正7年）、安土城下の浄厳院で行われた浄土宗と法華宗との仏教に関わる論争のことを「安土宗論」又は「安土問答」という。織田信長の命により、浄土宗の僧貞安・霊誉等と、法華僧日珙・日諦・日淵らの間で行われたものである。もとは天正7年5月中旬、安土城下で説法をしていた浄土宗の僧侶に対し、法華宗の信者が論争を挑んできた。この話を聞いた信長が、自分の家臣にも多くの法華信者がいるという理由で、「論争をしないように」と、双方に使者を送ります。浄土宗側は従おうとするが、法華宗側は勝つ自信があったため従わず、ついに問答で決着が行われる事になった。

5月27日、安土城下の浄土宗の浄厳院で問答をさせた結果、法華宗が負けて、今後他の宗派を非難しない旨を記した誓紙を出させられました。この時の宗論に由来する読経（法要）が今も浄厳院で行なわれていますが、それを何と言いますか。

- ① 勝どき念仏 ② 祝詞奏上 ③ 賛美歌 ④ 恩徳讃 ⑤ 般若経

答： ①（賛美歌はキリスト教における神を讃える歌であり、祝詞奏上は神社にて神様に祝い詞を指す言葉。讃美歌236番＝神の国はヴォーリズさんが作詞しています。）
今でも安土の浄厳院では鉦や太鼓を鳴らして念仏を唱える「勝どき念仏」の行事が毎年行われています。

11、「太閤素生記」に伝わる秀吉が最初に仕えた今川家の家臣の名前は誰か。彼の先祖は、もともと近江佐々木六角の一族で、市内の円山城の城主であったが、その子孫が三河国松下郷頭陀寺に住み着き「松下」姓を名乗った。家紋は佐々木氏と同じ四つ目結である。秀吉との出会いにより、今川家没落後は、家康に仕えていたが、秀吉が貰い受けて大名となった人物の名は。領地であった茨城県伊那町には国の重要指定無形文化財で『小張松下流綱火』というロケット弾のような花火が伝承されている。

- ① 太原雪斎 ② 大久保忠教 ③ 松下嘉兵衛 ④ 松平元康 ⑤ 岡部元信

答え：③（松下嘉兵衛之綱）・・・秀吉により大名となり後に徳川家康に仕えました。秀吉が仕えた松下家は情報収集の役を務めており、その手下となった秀吉は針を売りながら情報収集に努めていたが、織田家に潜り込み情報を取っていたようだが桶狭間の合戦で今川方が敗れたので、そのまま織田家の家臣となったという説もある。

12、近江八幡市安土町には有名な神社が2つある。1つは全国の近江源氏佐々木一族の氏神（佐々木大明神）が祭られている沙沙貴神社（ささきじんじゃ）であり、もう1つは日本武尊の妃の弟橘姫命が、「我胎内に子在すも尊に代わりてその難を救い奉らん。靈魂は飛去りて江州老蘇の森に留まり、永く女人平産を守るべし」としたこと、安産の神社とされている。滋賀のパワースポットとしても有名な天児屋根命を祭神とする、その神社の名前は。

- ① 安土神社 ② 老蘇神社 ③ 奥石神社 ④ 大石神社 ⑤ 鎌若八幡神社

答え：②（奥石神社：おいそじんじゃ）太田道灌も京に上る途中に立ち寄り、歌を詠んだ碑がある。太田道灌の子孫が草津宿に住み、酒屋酒造をはじめたことは覚えてほしいです。太田酒造といます。まだ店は営業しています。

13、「小田は良いところ お鍋の方が 殿をまねいたこともある」今も子守唄に唄われるお鍋の方は、一代の英傑”織田信長”の愛妾であった。小田神社のある小田町にはお鍋の方は住んだといわれる屋敷跡もある。お鍋の方は数多い信長の妻妾のなかで、唯一実名の判明している女性である。天正十年(1582年)六月二日 信長が本能寺で自刃、同十五日 安土城炎上のとき、側室お鍋の方を、ともかく敵方に囚われぬよう日野城へ迎え入れた人物は誰か。

①丹羽長秀 ②滝川一益 ③滝川益氏 ④蒲生賢秀 ⑤前田慶次郎

答え：④(蒲生賢秀：蒲生氏郷の父) 佐々木六角氏に仕えていたが後、織田信長の家臣となった。その子が蒲生氏郷であり、伊勢松坂城主～会津若松城主となり、伊勢商人や会津商人を輩出する切っ掛けとなる。いわずと知れた三井氏もその一人である。三井氏や伊庭貞剛なども近江商人です。

14、六枚橋交差点を南に入るところに住蓮坊首洗池がある。住蓮坊首洗池は、後鳥羽上皇が法然上人の弟子・住蓮坊等の二人の僧の首を刎ね、住蓮坊の首を洗った池とされる場所だが、その隣地に古墳らしき丘(千僧供古墳群)がある。その古墳は「壬申の乱で戦死した額田王、鏡王姉妹の父(鏡大王)の墳墓である」とされている。鏡氏は新羅の王子、天日槍の従者の末裔である。鏡の里の真照寺には額田王の父の墓が残されている。額田王は「あかねさす・・・」の蒲生野の相聞歌で有名だが、その額田王の姉であった鏡王女のことはご存じであろうか。中臣の鎌足の妻となり藤原不比夫の母となった人物である。では645年乙巳(いつし)の変(大化改新)で政権を蘇我氏より奪還し、百済を支援して白村江の戦いで新羅に負けた天皇は誰か。近江と深い関係のある人物で額田王の夫です。

①天武天皇 ②皇極天皇 ③聖武天皇 ④天智天皇 ⑤景行天皇

答え：④(天智天皇) 天智天皇が亡くなり壬申の乱がおこるわけですが、鏡王は大友皇子(弘文天皇)側に付いています。ちなみに海人族の和邇氏や安曇氏は大海人皇子の側です。当然、大海人=海人族のイメージですよ。

【文化】

15、昔は、上野神社や日牟礼八幡宮の境内でも「馬かけ(競い馬)」が行なわれていたが、近年は全く途絶えていた。しかし「足伏の走馬」として復活させた神社がある。それはどこか。御獵野乃社(みかりののもり)とも云う。

①岡山神社 賀茂神社 ③五社神社 ④若宮神社 ⑤大島神社

答え：②・・・京都の賀茂神社の系統である。賀茂神社は上と下の分かれているが、どちらも賀茂一族で出雲系の氏族である。京都の三大祭りの葵祭は有名である。祭神は賀茂タケツノミ命と賀茂別雷神である。三本足の鳥がシンボルである。

【自然】

16、富山県、石川県、福井県が主な生息地であるが、滋賀県では近江八幡市だけに生息している珍しい生物がいる。昔、北陸からの産物が八幡堀を通過するときに、ここで下車した荷物・材木等に付いていたとされている。その生物の名前は。

①北陸クモ ②イシカワムカデ ③ツルガマイマイ ④フクイガエル ⑤エチゼン
カミキリムシ

答え：③（ツルガマイマイ）

17、市内武佐学区にある長光寺は安産の仏様として信仰を集めている。推古天皇の頃、聖徳太子によって創建されたという名刹です。このとき太子がお妃の平産を喜び植えられた木（植物）は何ですか。別名「はなかえで」とも「おたふくの木」ともいわれ市の指定天然記念物になっています。日本最南端に生息している植物学上も、貴重な木です。

①ハナイチョウ ②アカスギ ③ハナノキ ④ハナクソノキ ⑤ハナミズキ

答え③（ハナノキ）令和4年に聖徳太子没後1400年遠忌を迎えるにあたって、県内の聖徳太子創建・開基の寺院はプロジェクトで取り組んでいます。市内には関係する寺院は 長光寺、長命寺、願成就寺、と観音正寺があります。

【街道・地理】

18、朝鮮人街道（ちょうせんじんかいどう）は、近江国（滋賀県）に存在した近世の脇街道である彦根道（ひこねみち）、京道（きょうみち）および八幡道（はちまんみち）の異名である。中山道（上街道）との比較で下街道・浜街道、あるいは朝鮮人道、唐人街道などともいう。距離は約41km。滋賀県野洲市行畑で中山道から分岐し、琵琶湖沿いを仁保～小船木から八幡へ入り西ノ庄・安土・彦根を經由して、滋賀県彦根市鳥居本で再び中山道に合流した。元元は織田信長が岐阜城から安土城を經由して京都に向かう道として整備したもので、徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利し凱旋した街道として「戦勝街道」とも云われる。そのため将軍上洛用に使われ、参勤交代での使用は認められていなかったが、唯一朝鮮通信使には通行が認められていたためこの名がある。朝鮮通信使の通行は前後10回（通信使としては12回訪日）。宿泊地は彦根市の宗安寺で、「李朝高官の肖像」が残されている。昼食所として近江八幡市の本願寺八幡別院が使われ、現在も「従事官の李邦彦の書」が残されている。この朝鮮通信使の関連で縁地連の「第8回朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会 in 近江八幡大会」が開催されました。その時、天和二年（1682年）第7回朝鮮通信使が、近江八幡の本願寺八幡別院で昼食を食べたという記録（慶應義塾大学図書館蔵「宗家記録」）をもとに三使（正使、副使、従事官）への饗応料理を再現製作もしました。その近江八幡大会を実施したのは近江八幡市と市国際協会（実はその時、私はスタッフをしていました）ですが、通信使行列には市民あげて協力しました。その時だけは市内は朝鮮色に染まりました。（近江八幡大会が

あった) その年は何年でしょう。

- ①2001年 ②2002年 ③2005年 ④2007年 ⑤2010年

答え：② (2002年に開催した。メイン会場は八幡別院でした。当時は在日韓国・朝鮮団体も協力されている。) 八幡別院の李邦彦の書は、現在、ユネスコ世界記憶遺産の登録がされています。今も全国縁地連絡協議会の主催で国内のどこかで行われています。

19、江戸時代に江戸・日本橋を起点として五街道が整備された。その五街道のうちで第66番目の「武佐宿」を通過して京都・三条大橋に至る街道の名前は何か。

- ①東海道 ②北国街道 ③中山道 ④八風街道 ⑤東山道

答え：③ (中山道、中仙道とも表記される。) 最近は中山道ウォークで武佐宿に来る観光客も増えている。周辺には、伊庭貞剛の生家跡やその墓所、武佐宿の本陣・脇本陣跡も残っているので観光ポイントではある。少し足を延ばせば長光寺や長光寺城跡、千僧供古墳群や住蓮坊遺跡などがある。

【観光】

20、近世初期より今日まで運用されている運河というか水路の名前。幅員約15メートル、全長6キロメートルに及ぶ。豊臣秀次が八幡城を築城した際、城下町として整備され、城を防御する軍事的な役割と琵琶湖の水運(当時の物流の要)を利用する商業的役割を兼ね備えた。八幡城廃城後の江戸時代には、近江商人(八幡商人)による町の発展に大きな役割を果たした。しかし昭和になると、運河の機能を失った堀は、汚泥を掬い上げる「川ざらえ」(浚渫)が廃れ、川底にヘドロが堆積し、悪臭を放つようになった。昭和45年地元は堀の改修を市に陳情し、堀を埋め立てて公園と駐車場にする計画が立てられた。しかし、近江八幡青年会議所が中心になり堀を近江八幡の誇りとして蘇らせようと、改修計画の見直しを迫り、八幡堀復活を求めて署名運動・自主清掃活動を行った。1975年(昭和50年)、「よみがえる近江八幡の会」が設立され、堀の保存修景運動は、市民全体の運動へと展開した。そして、1976年(昭和51年)、堀の全面浚渫工事が着工された。昭和57年、国土庁の「水緑都市モデル地区整備事業」に指定され、堀の石垣が復元され、堀沿いに遊歩道・親水広場が作られた。平成4年、「近江八幡市八幡伝統的建造物群保存地区」として「新町通り」「永原町通り」「日牟禮八幡宮境内地」とともに国の重要伝統的建造物群保存地区として選定された。今では水運が復活し、「たそがれコンサート」で市民の憩いの場となり、また江戸を舞台とした時代劇ドラマや映画の格好のロケ地になっている。その水路の名前は何と言っているか。

- ① 新町浜堀 ② 宮内堀川 ③ 八幡堀 ④ 船木川 ⑤ 多賀堀 ⑥ 道頓堀

答え：③ (八幡堀) 八幡の町と八幡堀は、秀次の城代家老だった田中吉政が縄張り(計画)し、南津田の商人山形屋西川仁兵衛(西川甚五郎)が工事監督をしたという最初から商人の町として建設されています。町の運営は有力商人たちが入れ札で総年寄を決め

て、自治をしていた。八幡堀は、江戸時代までは町衆が管理し浚渫などをしていました。
21、西の湖に和船を浮かべての水郷めぐりが、近江八幡観光の目玉の一つとなっているが、「春色、安土・八幡の水郷」として昔（琵琶湖国定公園が制定されて）から云われている景観名所のことを何八景の一つと言うか。

- ① 琵琶湖八景 ② 近江八景 ③ 湖国八景 ④ 琵琶湖周航八景 ⑤ 八幡名所八景

答え：① 滋賀県の風景と云えば近江八景という言葉が思いつくが、近江八景は、江戸時代の安藤広重の浮世絵で一躍有名になったが、琵琶湖全域から選抜された風景ではなく、昔の交通の要所となった琵琶湖南部に集中している。昭和25年（1950年）に琵琶湖が国定公園に指定されたのを契機に琵琶湖全域も含めた景勝地から琵琶湖八景が選定された。

【民俗】

22、近江八幡市の語源の「八幡」は日牟礼八幡宮からであるが、その日牟礼八幡宮の祭神は「応神天皇」となっているが、全国の八幡神社系統の総社は「宇佐八幡宮」である。元々は、宇佐八幡宮には応神天皇が拝んでいた鍛冶の神が祭られていた。宇佐八幡宮は、秦氏が創建したと伝えられ「八幡」とは「ヤハタ」と読み「秦氏の神」を意味する。「八」は八百万神の八であり八岐大蛇の八であり、古代から「八」は聖数とされ、八を用いた八十（やそ）、八雲、八咫鏡、同様に「数が大きい」という意味で用いられてきた。秦氏は弓月君を祖とする新羅系出身だろうと考えられている。さらに伏見稲荷大社も秦氏の創建で有名である。それはともかくとして、問題です。全国で一番、多い神社は何系統の神社であるとおもいますか。

- ① 八幡神社 ② 稲荷神社 ③ 出雲神社 ④ 山王神社 ⑤ 熊野神社

答え：（稲荷神社）・・・江戸時代に江戸で流行った言葉に、稲荷・八幡・犬の糞と多い物を並べた言葉があった。八幡も稲荷も元は鍛冶の神である。日牟礼八幡宮の祭神は応神天皇と神功皇后と比売神（宗像三女神）である。滋賀には大国主を祀った神社も多い。

23、近江八幡市の鬼伝説は「今昔物語」にも載っている程なので有名であるが、「鬼」といえば大江山の酒吞童子、羅城門の鬼の茨木童子、近江の伊吹童子も有名である。特に伊吹童子は日本武尊（ヤマトタケル）が伊吹山の神々と戦い負傷した時の手強い相手（まつろわぬ者）である。この鬼の名に童子が付くのは、河童（カッパ）、山童（ヤマワロ）と同様に人間ではなく妖怪として扱われたということである。民俗学の柳田邦男は「妖怪とは神の零落した姿」とした。では、神話に登場する天目一箇神（＝同一神とされるのが天御影命＝三上山の御上神社の祭神）として扱われたり、一つ目小僧という妖怪として扱

われた人々は、誰なのでしょう。「ひよつとこ」とも関連があります。

①木こり・杣人 ②獵師・マタギ ③鍛冶・タタラ ④山賊・盜賊 ⑤漁師

答え：③（鍛冶タタラ衆）野洲市の三上山にはムカデ伝説がある。ムカデは鉾山の象徴

【産業】

24、近江八幡市の特産品といえば、この食品が有名です。かなりインパクトのある色をしています。といっても別に辛子が入っているわけではありません。食べてみると、ごくふつうです。この独特の色は、三二酸化鉄という食品添加物によるもの。しかもこの「食品」は近江八幡の奇祭としても知られる「左義長まつり」と信長に大いに関係があったことをご存知ですか。もとはといえば左義長まつりは、安土城下で織田信長が自ら女装して踊り出し、より一層祭りを盛大なものにしたのが始まりといわれています。その後安土城が廃城になり、隣の八幡山下に八幡城下町が開かれたことから、多くの町人が安土城下から移り住みました。このとき、左義長まつりの山車に飾られる赤紙にヒントをえて、近江商人が考案したと言われる説がありますがはっきりしたことは分かっていません。ただ、近江八幡では昔から、冠婚葬祭や学校給食等で幼い頃から生活と共に存在します。色は、三二酸化鉄という鉄分で染められていますので健康的にも優れた食品です。地元では古くから親しまれている八幡名物。医食同源、美味健康とも言われる通り、「鉄骨〇〇＝飲料ならぬ食品」とも呼ばれ、ノンカロリーのヘルシー食品としてダイエットにも最適です。その食品の名前は何かでしょうか。

①近江牛肉 ②ちょうじ麩 ③赤こんにやく ④でっちようかん ⑤ういろ

答え：③ 近江八幡の特産です。ぜひお土産にどうぞ。近江八幡市民に「こんにやくの色」を聞くと必ず「赤色」と答えます。一説では信長が派手な色を好んだから、こんにやくも赤色にしたという話もあります。「信長記」にある左義長まつりにも赤い色が使われています。

【産業】

25、近江八幡のヨシ産業は古く、信長時代にはヨシが年貢として納められていたと記されています。当市の円山町周辺には現在約50ヘクタールに及ぶ群生地があり、この地方のヨシは江州ヨシと呼ばれその品質の良さは全国的に有名です。一般的な用途は、すだれ・衝立・屋根や天井等の建材、茶畑の覆い等に使用されます。変わったところでは、ヨシの根は漢方薬として、熱を冷まし吐き気を沈める効果やふぐの解毒救急にも適しているとされています。近年は、ヨシを原料にして名刺や便箋等の商品開発が行われ身近な物となり世の中に出ています。また、ヨシで作られた楽器（ヨシ笛）が誕生したことで、ヨシ笛コンサートも開催されるなど、ヨシの果たす役割や魅力を訴える活動が様々な形で行われています。ヨシはイネ科ヨシ属の多年生草本です。万葉集や日本書紀等では「豊葦原」といい「ヨシ」という言葉は使われておらず、平安末期頃に生まれてきた

ようです。これは、当初使用されていた「アシ」が「悪し」につながるため、ヨシ「善し」に変化したとされる説があります。地元では中が空洞なものを「ヨシ」と呼び、中が詰まっている「オギ」というものを「アシ」と呼んでいます。余談ですが、江戸の吉原は元々「葦」が群生する湿地帯でしたが、「アシハラ」では、悪所とされる場所だけに「ヨシ」を意図的に使ったと云われている。漢字では「葦」と「葭」で区別している。「葦」と「葭」の違いをあえて言うなら「するめ」と「あたりめ」の違いです。また、ヨシの中で大声で鳴く「葦原雀」はそうぞうしい鳴き声から「行々子(ぎようぎようし)」ともいうが、なんという名前の鳥か。

①ウグイス ②ヨシキリ ③カイツブリ ④キジ ⑤ヒバリ

答え：② 琵琶湖の鳥といったらカイツブリが有名ですが、ヨシキリはスズメやウグイスの仲間です。

【国際】

26、イタリア・ロンバルディア州のマントヴァ市と近江八幡市は旧安土町との合併と同時に姉妹提携を結びました。マントヴァ市と近江八幡市（旧安土町）は何の縁で姉妹提携を結んだのでしょうか。

①安土城屏風絵 ②天正遣欧使節 ③水環境の保全 ④県と州が姉妹提携を結んでいるから ⑤全国信長サミットに加盟したから

答え：③（水環境の保全）・・・信長と関係あると思っていましたか？安土城下の屏風絵絡みと思った人も多いかと。信長は当時、日本でもっとも著名な画工（狩野永徳か）に描かせた「安土山図屏風」は、宣教師ヴァリニャーノを通じ、最終的にローマ教皇グレゴリオ13世に献上されたということですが、現在、その所在が分からないそうです。その安土山図屏風がみつければ幻の城といわれた安土城の全容も分かり、復元に一歩前進できるということです。なぜなら安土城を復元するため文化庁に請願をしたところ、その安土山図屏風が条件だったそうで、今でもその条件が生きていることから安土城復元プロジェクトも進展しないということです。

【興行】

27、「平安楽土」から「安土」の地名が付いたとされる「安土」ですが、最近は違った説が主流になっています。岐阜の命名も中国の岐山から名づけたという説から、前からあった地名で土岐氏からきているという説に変わりつつあります。それはそうとして、JR 安土駅の南広場にある大きな相撲檣。安土時代に織田信長が興行としての相撲を奨励し、東西制の導入や丸い土俵の原型を考案者したとされています。それまで相撲は神事であり祭りであり武芸であった。信長自身が小さい時から相撲好きであり、何回も大

相撲安土場所を主催していると「信長公記」にも相撲の記載あり。そのため元亀元年（1570）に織田信長が開催した相撲興業が近代相撲の発祥と言われています。安土は相撲発祥の地ということでこの土俵櫓のモニュメントがあるのです。相撲といえば垂仁天皇7年（紀元前23）7月7日、当麻蹶速（たぎまのけはや）と野見宿禰（のみのすくね）の話があり奈良県桜井市と當麻町が「相撲発祥の地」とされているのではないかと疑問を持ちましたが、安土は、「近代相撲の発祥の地」といわれているのですが、「近代」という2文字が付いているのです。余談ですが、両国国技館には相撲好きだった信長が相撲の取り組みを見物している姿が壁に大きく描かれているそうです。それでは、問題です。「安土」という名前について最近、元々は「安曇（アド・アヅミ）族の住んだ地」＝アドの地＝アドチ＝安土になったという説が有力になってきました。いわゆる海人族です。今、安土山と称しているのは安土城があった場所だからですが、本当は「目賀田山」に目を付けた信長が、「安土」という地名が気に入って自分の城にその名を付けたらしいです。ではここで問題です。大河ドラマ「麒麟が来る」で日の目を見た明智光秀ですが、信長の臣下となって、初めて初陣したのは〇〇城攻めでしょうか。市内にある城址です。

① 目賀田山城（安土城） ② 北ノ庄城 ③ 八幡山城 ④ 長光寺城 ⑤ 木村城

答え：④ 長光寺城 織田信長は、目賀田山城の跡に安土城を築いています。安土城が建築するまでの間は、木村城に滞在しています。佐々木六角氏の支城であった、北ノ庄城は、既になく、八幡山城は、信長の亡くなった後に豊臣秀次が城をきずいた場所です。佐々木六角氏の支城であった長光寺城攻めは、近江侵攻で明智光秀が織田家臣として初陣した戦だといわれています。長光寺城には柴田勝家が入城し越前に転封になるまで城主でした。最近、明智光秀に関しては出身地は岐阜ではなく、滋賀県多賀町佐目というところであり、そこには「十兵衛屋敷」跡もあるという説が出てきている。やっぱり大河ドラマの影響は凄いですね。

【経済】

28、近江商人の商売の方法はいわゆる「のこぎり商法」といわれるものであったが、江戸時代中期になると蝦夷地に渡り、松前藩士の知行地の「場所請負制度」と言って、知行主に運上金を納めさえすれば、その場所からとれる産物を流通交易（産物廻し）したり漁場開拓などの商売で北海道開発に携わって貢献した近江商人も多くいる。八幡商人では、古平・小樽を拠点として活動し、登別温泉を発見したとされる屋号を恵比寿屋

又は松前屋と称した八幡商人は誰か。今もその豪商の屋敷は残っているが子孫は東京に
いるらしい。

① 岡田弥三衛門 ②西川傳右衛門 ③近藤重蔵 ④藤野喜兵衛 ⑤西川庄六

答え：①（岡田弥三衛門）八幡商人で他に蝦夷地に渡って商売したものは西川傳右衛門
がいます。屋号は住吉屋、中一商会とも言います。第10代西川貞二郎はカニの缶詰工
場や醒ヶ井の養鱒場を作ったりしており、八幡銀行の頭取などを歴任し八幡町名誉市民
にもなっています。分家の西川吉輔から養子になった第11代西川吉之助は娘・濱子が
聾であったことから聾教育に熱心であった。

29、ウイリアム・メレル・ヴォーリズ氏は明治38年に日本に来て、色々なものを日
本に伝えました。キリスト教の伝導では今に至るヴォーリズ建築やメンソレータム

（現・メンターム）などです。案外知られていないのですが、「ハモンドオルガン」を
日本に紹介しその代理販売もメレル・ヴォーリズさんが手がけています。近江兄弟社学
園（ヴォーリズ学園）の教育会館（有形登録文化財）にはそのハモンドオルガンがあり
ますので、一度ご覧になってください。見学は無料ですが、開館日時・時間が限定して
いるため予約等連絡されてからいかれるほうが良いでしょう。ついでに、隣の「ハイド
記念館」もおすすめします。ハイド記念館にはヴォーリズさんが直接、アメリカから持
ってきた品物が今も展示されています。さて、それは何でしょう？これは来日時、直接、
現地（ハイド記念館）で見た方でないといわれないと思いますが、想像してみてください。

① カバン ② 柱時計 ③ 籐の椅子 ④ 暖炉 ⑤ 机

答え：① カバンです。トランクともいいます。これには面白い話があって、当時、ア
メリカから荷物を送ったが、ヴォーリズさんが八幡町についても一向に荷物が届かなか
ったらしい。行き先を必死に探した結果、九州の八幡（ヤハタ）町＝八幡製鉄所があっ
たところに行っていたということです。

【古代】

30、古代にも思いを馳せて目を向けよう。その昔、近江八幡は和邇氏の日触使主（ひ
ふれのおみ）命という者の支配地であった。藤原不比等の和歌にある「比布礼の森の八
幡かな」の和邇の日触使主命である。和邇氏は和邇族ともいわれる海人族で出雲風土記
に出てくる「ワニと稲羽の白うさぎ」のあのワニである。記紀の応神紀には、応神天皇
がこの地に行幸（八幡祭の起源とされている）に来た際、日触使主命の娘＝宮主宅媛を
見染て妃にしたとある。和邇氏は大津にも「和邇浜」「小野神社」などの名を残してい
る。和邇の別れ氏族には小野氏をはじめ、山部氏、柿本氏、春日氏、など和歌の歌人で

有名なものが多数いる。一井（市井）氏のように日牟礼八幡宮の神官を務めたものもいる。（今現在は岳氏が宮司である）この和邇氏の日触使主命の娘の宮主宅媛と応神天皇の間に「菟道稚郎子（うじのわきいらつめ）命」という皇子がいたが、異母兄のオオサザキ（後の仁徳天皇のこと）に王位を譲って自殺（王位争奪に敗れて実際は殺されたのだらうと思う）したという。その「菟道稚郎子命」が住んでいたところ（宇治市）に神社が立っている。それを「宇治神社」（＝上下の2座ある）という。祭神は、「菟道稚郎子命」である。宇治川を挟んでその向かいには宇治の平等院があるのでわかりやすいです。この皇子の名の「菟道」とはウサギの道という不可解な名前なので憶えやすい。なぜなら、ワニの息子がウサギなのだから。では、ここで簡単な問題です。応神天皇の母は、だれでしょうか。という問題です。父は「仲哀天皇」です。仲哀天皇は日本武尊の子どもです。日本武尊の関係する神社は滋賀県一の宮・建部神社が有名です。昔の千円札にも日本武尊と建部神社が載ってあります。日本武尊は伊吹山の賊と戦い、その時の傷がもとで亡くなり、白鳥となってどこかに飛んで行ったという伝説をもった人物です。伊吹山に近い処にいた古代豪族といえば息長氏だらうか。伊吹山でヤマタノオロチに遭遇したというから製鉄民の可能性もある。

- ① 鏡王女 ② 額田王 ③ 神功皇后 ④ 木花咲耶姫 ⑤ 弟橘媛

答え：③の神功皇后です。福岡の宇美町には神功皇后が応神天皇を生んだ場所とされる「宇美神社」があります。神功皇后は別名、息長帯足媛とも言われて、近江の息長族の一族というように考えられています。古代近江には息長氏、安曇氏、和邇氏の海人族が住んでいたわけですが、また、鏡王女と額田王は姉妹であり竜王町の鏡の里の豪族「鏡王」の娘であった。元は天日槍（アマノヒボコ。ツヌガアラヒトとも称される）とともに来日した渡来民だとも言われている。天日槍は息長氏とも関係があるとされる。神功皇后の三韓征伐や応神天皇の誕生には5代の天皇に仕えた「武内宿祢」が重要な役割を担っていますが、武内宿祢は蘇我氏の祖であり、藤原氏編纂の記紀には聖徳太子と蘇我氏が表裏一体にして記されているように唱える学者もいます。

六枚橋交差点を南に入るところに住蓮坊首洗池がある。住蓮坊首洗池は、後鳥羽上皇が法然上人の弟子・住蓮坊等の二人の僧の首を刎ね、住蓮坊の首を洗った池とされるどころだが、その隣地に古墳らしき丘（千僧供古墳群）がある。その古墳は「壬申の乱で戦死した額田王、鏡王姉妹の父（鏡大王）の墳墓である」とされている。鏡氏は新羅の王子、天日槍の従者の末裔であると記す文献もある。鏡の里の真照寺には額田王の父の墓が残されている。額田王は「あかねさす・・・」の蒲生野の相聞歌で有名だが、その額田王の姉であった鏡王女のご存じであろうか。中臣の鎌足の妻となり藤原不比等の母となった人物である。